



2014年5月 第385号

スズキ労連

2014年  
5月号

スズキ関連労働組合連合会  
静岡県浜松市南区増楽町20  
電話〈053〉447-3079  
発行人 古川正明  
編集人 渡部 豪

# スズキ労連 安全衛生研修会を実施

スズキ労連では毎年、安全意識の高揚、加盟組合の安全活動の充実を目指して、組合役員を対象とした安全衛生研修会を実施しています。今年の安全衛生研修会は5月9日(金)に、宮城県の「トヨタ自動車東日本(株)大衡(オオヒラ)工場」を訪問し、先方労使と安全をテーマとした意見交換と工場見学を実施しました。

大衡工場では、2006年に発生した重大災害から「安全意識」を高める新たな活動をスタートさせ、安全に対する教育や改善取り組み、リスク管理とは別に、「過去に発生した重大災害を、発生日にふりかえる」ことで、発生を減少させています。参加した組合役員からも「自単組でも活かしていきたい」と今後の安全意識の高揚につながった研修となりました。

## トヨタ自動車東日本の安全の取り組み

- 過去に重大災害が発生した日を「安全を誓う日」や「安全対話の日」に設定し「風化させない」取り組みを実施
- 危険作業は、唱和を繰り返し行い危険行動を「身体にすり込む」
- 安全対策への改善は、対策を確認し「安全を保障」



トヨタ自動車東日本労組の豊田執行委員長をはじめ会社の執行役員にもご出席を頂き、会社概要、工場の安全に対する取り組みの説明を受けました。その後大衡工場内を見学しました。

## 東日本大震災の被災地も訪問



住宅の基礎が破壊されたままの状態  
津波被害の大きさが伺える。



スズキ労連の組合員を代表し、中央執行委員で  
献花を行いました。

安全衛生研修会後に、宮城県東松島地域の被災地を訪問。スズキ納整労組 東日本支部の亀山支部長から震災時の状況を聞き、災害への備えの重要性を改めて認識しました。

震災当時スズキ労連にて呼びかけを行った「東日本大震災のカンパ活動」や「連合の救援ボランティア活動」に対する感謝の言葉も頂きました。ご協力頂いた組合員の皆さんにも改めて感謝申し上げます。

## 「2014年総合生活改善の取り組み・販売部門」 「スズキ販売労働組合51支部」回答出る!

全国51支部が回答引き出しに向けて、粘り強い交渉を続けてきました。スズキ販売労組は4月10日にスズキ(株)国内営業部との意見交換を行ない、その中で支部のがんばり、現場の状況を訴えました。支部主張では、販社の経営体質の改善に向けた様々な会社施策に協力してきた組合員の懸命な努力・頑張りをはじめ、今後の働く意欲、活力につながる回答を求め、交渉を追い上げました。

そして、回答指定日である4月21日(月)に続々と受取り交渉を行ない、回答を引き出しました。全51支部で賃金については昇給水準維持+賃金改善、一時金については、昨年獲得実績以上の回答が示されました。

また、販売労組結成後、初めて企業内最低賃金の回答が示されました。

岐阜スズキ労組は5月中の回答引き出しに向けて交渉を継続中です。

### スズキ販労 各支部回答内容

- 賃金引上げ  
標準的に昇格・昇進した者の昇給額は昨年と同等水準を維持する。  
賃金の改善分として係長手当の改定と賃金カーブ是正
- 一時金(年間)  
5.5ヵ月 14支部  
5.3ヵ月 36支部  
5.2ヵ月 1支部
- 総労働時間短縮  
労使で、仕事の棚卸しをはかり、現状に対する共通認識を持ち、非効率な働き方をなくして、総労働時間短縮に取り組んでいく。  
労働時間管理の適正化については、残業、休出の際のルールを徹底していき、必要の都度労使で確認していく。
- 社会的役割を踏まえた取り組み  
コンプライアンスに対する認識を労使で共有するとともに、必要に応じて今後も適切に対応していく。

# 第3回 スズキ労連みんなの写真コンテスト

応募者全員に参加賞あり!  
ご応募お待ちしております!

締切迫る!!  
6月6日(金)まで



スズキ労連では、文化活動の一環として、全国規模で組合員のみなさんが参加できる文化行事(写真コンテスト)を昨年に引き続き開催します。第3回のテーマは「私の自慢」。ご応募をお待ちしています。

応募期間: 5月6日(火)～6月6日(金)

応募作品: 応募者本人が撮影したオリジナル写真(四つ切 or A4サイズ)

応募点数: 一人につき一点

応募先: 組合事務所または支部書記局へ

賞品: 最優秀賞 1名(1万円相当の賞品)  
優秀賞 3名(5千円相当の賞品)  
佳作 10名(千円相当の賞品)  
参加賞 応募者全員

入選発表: 7月下旬にスズキ労連ブログにて発表

※応募要項は応募用紙にてご確認ください。

応募用紙は各組合事務所・書記局にあります。

働くものの祭典

## 第85回メーデー中央大会

RENGO  
連合 日本労働組合総連合会

力合わせよう! 心つなげよう!  
みんなの暮らしの底上げ実現のために

4月26日(土)、東京・代々木公園で連合第85回メーデー中央大会が開催され、私たちの働くなかま約4万人が参加し、来賓には、小泉総理以来13年ぶりに安倍総理が政府代表として挨拶を行いました。引き続き田村厚生労働大臣、民主党から海江田代表が挨拶を行いました。

中央式典での連合・古賀会長あいさつでは「本年のメーデーは、労働者保護ルールの改悪にストップをかけるべく、『STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現キャンペーン』の一環として位置づけ、全国で特別決議を採択することになっている。働く者の声をしっかり受けとめ、いま、政治がやるべきことは何か熟慮していただきたいとの考えから、広く各政党にお声がけさせていただいた。」と、本メーデー中央大会に込めた思いについて述べられました。

式典は、「メーデー宣言」ならびに、「労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議」を満場の拍手によって採択し、氏家連合会長代行による「がんばろう三唱」にて締めくくられました。



スズキ労連からは9名が参加

## 自動車総連 第3回女性研修会

スズキ労連より女性委員2名が参加!  
『女性が働きやすい職場は男性も働きやすい!』

2014年4月18日(金)、自動車総連内の会議室(品川)にて、第3回女性役員研修会が開催されました。スズキ労連からは伊藤澄香さん(平岡ボデー労組)、酒井奈津江さん(スズキ化成労組)の2名が参加、自動車総連加盟の各組合より総勢33名の女性組合員が参加。内容は、女性組合役員より活動紹介、報告があり、その後「より女性が働きやすい職場に向けて」のグループワークを行いました。

グループワークでは、「女性が働きやすい職場を作るには、一人ではなく集まって意見を出す場の設定が必要」、「制度や労働環境を女性が働きやすいように変えるということは、男性にとっても働きやすい職場ということになるので、会社を巻き込んで取り組むことが重要」などの意見がありました。スズキ労連は引き続き男女が集まって意見を出す場の設定に取り組んでいきます。



全国から33名の女性組合員が集まりました



グループワーク発表の様子

どんなことでもOK!  
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連  
労働相談  
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活...  
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073  
\*月～金 9:00～19:00  
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望が  
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail: twatanabe@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

\*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌  
共通パスワード… saw2007